



森のなかま

2015年11月号
NO.91号 (継続236号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0014 厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館 TEL046-280-4101・FAX046-280-4102

『NPO法人かながわ森林インストラクターの会』はこんな事をやっています！！
(原点回帰 (Go back to the basics) で活動をしています)



森林(づくり)

植樹や下草刈り、枝打ち、間伐などの作業指導を行うとともに、森の手入れの意義や森林の機能についての解説を行います。また、豊かな森林づくりのための整備活動を行います。



自然観察

森を探訪しながら、森林の機能やそこに生息する生き物の生態および人との関わりについて解説し、森の楽しみ方を案内します。県内各地で自然観察会や「森林探訪」を開催しています。



森林文化

森からのめぐみを使った木工・クラフト・紙すきなどの製作指導や中山間地域に培われてきた伝承文化、民俗、自然との共生の知恵を学ぶお手伝いをします。



普及啓発

森林の大切さを県民に伝えるとともに、市町村、学校、企業、団体等の森林・林業に関する各種イベントや学習講習などの開催についての企画や推進の支援をします。



森林癒し

森の中で五感を使った散策などを通し、森林が人の心や身体に及ぼす働きを体験できます。心身の疲れを癒し、健康でこころ豊かな生活ができるようお手伝いします。



成長の森の案内



モモンガ

水源林のつどい

森の案内

やどりき事業

会の活動拠点。529ヘクタールのやどりき水源林をベースに森林整備、自然観察、森林癒し、森林文化などの活動を行っています。水源林を巡る「森の案内人」や「成長の森の案内人」を行っています。

(イラスト 広報 大塚 晴子 11期)

他にも ・学校や企業等からの派遣要請等に対応アサイメント等を行うネットワーク事業活動。
・日本触媒湯河原万葉の森 ・伊勢原ひじりの森等の事業活動をおこなっています。



森林部会主催 平成27年度 「間伐研修会第1回、2回」

第1回 9月13日(日)、8:45~15:00、曇り時々晴れ

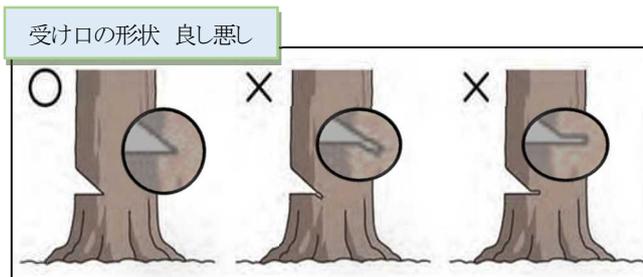
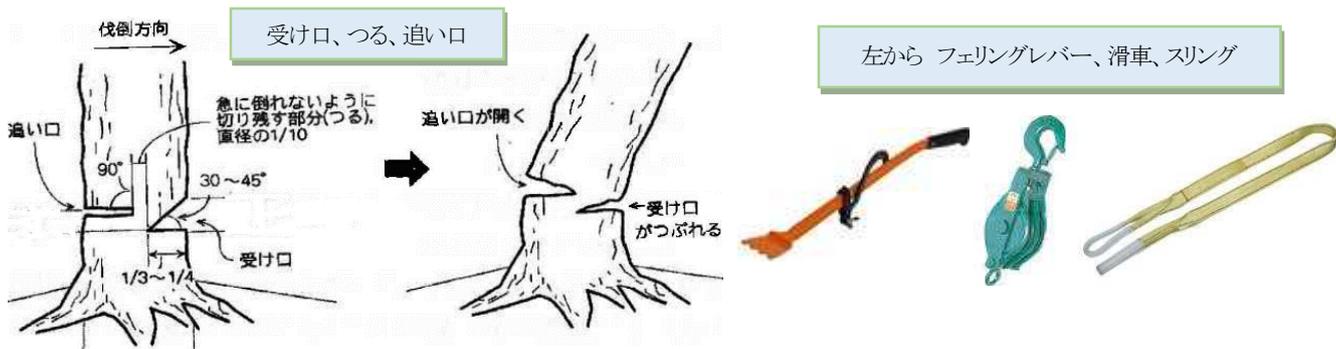
第2回 10月4日(日)、8:45~15:00、晴れ時々曇り 場所:伊勢原市日向御所入地区

参加者(研修者): 9/13 25名、10/4 20名(講師、幹事は含まず)

講師: 森林部会有志 両日: 佐藤5期、柴11期、松永11期、9/13: 戸谷6期、10/4: 大澤10期

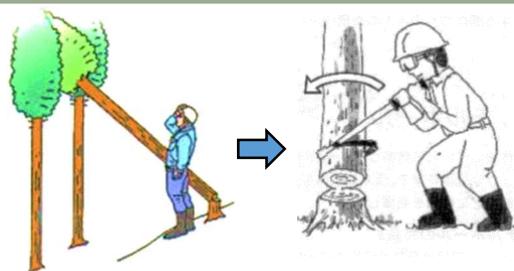
幹事: 9/13: 小野7期、大澤10期 10/4: 有坂8期、飯澤9期、大橋11期

- 研修目的: 今回の研修では、滑車・フェリングレバー等の道具を利用する基本的な技量向上と合わせ、皆さんが実際に『間伐』のインストラクターとして、参加者をリードしていく作業指導の要領、安全への配慮を習得、班メンバー間でお互いに確認し・理解し・共有化していただくことを主眼とします。
- 研修対象木: 研修対象木: スギ・径20cm前後(径は細くても、“伸び”があります)
- 研修スケジュール:
8:45~9:00 キャンプ場入口駐車場で共用道具配付。現場へ。9:30~9:40 現場にてオリエンテーション、
9:40~12:20 間伐実習、12:20~13:00 昼食・休憩、
13:00~14:25 間伐実習/振り返り、14:30~15:00 移動/質疑応答・講評/解散



水平切りと斜め切りの終点が一致している。斜め切り、または水平切りを切り込み過ぎていて、終点が一貫しない。このまま追い口を切ると倒れ始めてつるが切れてしまい、伐倒方向が狂ったり木が裂け上がることもある。このような受け口は修正が必要。

掛かり木 ⇒ 例) フェリングレバーによる木回し対応 (木回しを使う時は、つるに切り込みを入れ、回りやすくしてから)



<感想記 東一郎 12期> 日時:9月13日(日)

当研修は、25名の参加者が4班に分かれ、指導・安全への配慮を習得すべく、作業・確認しました。間伐の各作業の目的・意味を再確認すると共に、インストラクターが作業される方々に、その配置・役割を相互に確認・共有できる様に、メリハリある指導・誘導する重要性を再認識できたと感じました。

特に、インストラクターの指導・誘導の内容・在り方に「差」の生じないことは、参加者の方々が安全・安心を実感し、快適に森林保全への参加をできる場を提供する為に重要であることを認識できた研修でした。

研修の様子・ポイントは携帯の動画で持ち帰り、通勤の合間、スキルアップに活用します。

結構、良いので、お試しください。

最後に丁寧なアドバイスをいただきました講師等の皆様、ありがとうございました。

オリエンテーション



使用道具

左から 間伐鋸3、ロープ20m、スリング、滑車、フェリングレバー、ハンマー、ロープひっかけ棒



枝振り状況は



伐倒方向は



掛かり木対応で
予めロープ掛け



受け口切り込み



受け口切り込みの確認



追い口切り込み



倒木



受け口、つる、追い口の結果確認 ⇒ スギはつるを厚めにとること

<感想記 内田啓太 13期> 日時:10月4日(日)

今回の間伐研修は、作業しやすい薄曇りの中、スタートしました。私がトップバッターで伐る事になり、水平に気をつけながら受け口を開け、続いて追い口を開けました。掛かり木となり、杉なので枝が折れると考え、引っ張ってみましたが動きません。講師の大澤さんの指導で、山側のツルを薄くしますが、掛かり木が外れる程の効果が見られません。続いて、木回しをするために、指2~3本分くらいの太さの芯を残してツルを切りました。木回しで効果があり、もう少しで掛かり木が外れそうになったタイミングでツルを少し細くしました。ねじれている芯で残したツルを細くするというこの作業は、どこをどの程度切るというのが難しかったですが、無事に伐倒となりました。今回の研修を経て、いつもの作業を見返す事が出来、講師インストラクターの指導内容の他、参加されている先輩インストラクターのやり方や考え方もわかり、非常に勉強になりました。また機会があれば、参加したいと思いました。

(写真撮影: 小野⑦、大橋⑩、松本⑪)

■ 募 集 ■

◆ 森林探訪-3「紅葉のシダゴ山と秦野林道を歩こう」

日時 2015年12月6日(日)雨天決行 募集人員:80名
 テーマ 紅葉のシダゴ山と秦野林道を歩こう (水源環境保全・再生市民事業支援)
 集合 小田急新松駅 8:15集合 (15時40分ごろ解散)
 コース 新松田駅ーバスー寄ー(林道)ーシダゴ山ー秦野峠林道ー寄大橋ーバスー新松田駅 (歩行距離約9km)
 参加費 1,000円 (割引はありません) (バス代別途900円が必要です)
 持物 昼食、飲み物、雨具など必要と思われるもの。ハイキングができる服装・靴
 NPO法人かながわ森林インストラクターの会 松永廣
 申込み 住所:〒245-0016 横浜市泉区和泉町6206-1 グレーシアいずみ野105
 森林探訪名、開催日、参加者全員のお名前、住所、電話番号を記入の上、
 11月21日必着で往復はがきでお申し込みください。
 問合せ NPO法人かながわ森林インストラクターの会 松永廣 TEL.050-8880-3465



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

“ 第81回森林探訪 大雄山最乗寺 ” 9月26日(土) (公財)かながわトラストみどり財団共催
 コース: 大雄山駅—南足柄神社—仁王門—てんぐのこみち—最乗寺—丸太の森入口—花咲く里山—仁王門

< 自然観察部会 内野 ミドリ 9期 >

参加者 男性27名 女性28名 子ども1名
 (公財)かながわトラストみどり財団
 齊藤様、内藤様 看護師 青木様
 インストラクター L内野⑨、野田⑧、女川⑨、
 小林⑩、杉崎⑩、上宮田⑪、松永⑪、
 稲野辺⑬、長尾⑬、古館⑬、松石⑬、真部⑬



南足柄神社でイチイガシの巨木に見入る

心配された天気も徐々に回復し、森林探訪日和となりました。今回の森林探訪のテーマは、何といても神奈川県天然記念物(第1号)に指定されている最乗寺の寺有林・樹齢500年の大雄山スギ林です。600年の歴史を持つ大雄山最乗寺と寺有林で樹齢350年～500年の大雄山スギ林、歴史と自然の織りなす荘厳な雰囲気を感じることができました。また、大雄山のスギ

林と他のスギ植林地や里山など、変化に富んだ森林を見ることができ、それぞれの違いを感じることができました。

大雄山駅から最乗寺奥之院まで標高差約400mを3時間かけてゆっくり歩き、秋の草花や、花や種子をつけた樹木などの話を聞き、心地良い風を感じ、風格のある巨木を見、ゆったりとした時間の流れを感じました。仁王門、てんぐのこみち、最乗寺三門、最乗寺境内、見どころがいっぱいでした。最後の登りは奥之院へ続く354段の階段で、少しきつかったですが全員無事に奥之院に到着し、班ごとに昼食をとりました。

午後は、奥之院から細い道を下り、再び最乗寺境内に入り、てんぐのこみちを戻り、途中で丸太の森入口からわずかの間、山道を登りました。

小高い峠を越えると雰囲気ががらりと変わりのどかな里山に出ました。都会のすぐ近くにありながら、地域の皆さんが大切に守ってきた里山で「神奈川県里山里山保全等地域」に選定されている「花咲く里山」です。刈り入れ前の黄金色に色づいた棚田や、かやぶき屋根の家や、小川のせせらぎなど、なぜかホッとする里山の風景には、自然とともに暮らす人々の知恵と技と文化が受け継がれていることを感じました。里山の秋を見つけながら仁王門までのんびりと歩き、予定の時間に仁王門バス停前で解散しました。



丸太の森入口から山道を登る



里山で参加者が草笛を披露してくださる



最乗寺境内で(上・下)

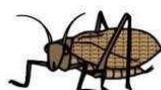


仁王門からバスで帰られた方もいらっしゃいましたが、大雄山駅まで歩いて帰られた方も多く、皆さんの元気パワーに感服しました。

参加された皆さんには満足していただけたと思います。

(写真提供も 内野氏)

活動短信



今回の掲載は
8/19～9/1です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

蒙霧升降(8/18～8/22頃)
もうむしょうごう、ふかきりまどう
第三十九候 立秋 未侯

天地始肅(8/28～9/1頃)
てんちはじめてさむし
第四十一候 処暑 次候

◆ 県民参加の森林づくり 下草刈り

- 日 8月19日(水)8:30～15:00、曇り
場 箱根仙石原イタリー水源林
参 44名
財 古舘様、鳥海様 看 小林様
イ L水津⑨、米山④、滝澤⑤、斉藤⑥、小野⑦、
内野⑨、橋本⑩、波多野⑪、渡辺(敏)⑫、
武井⑬、古舘⑬

猛暑、炎天下、熱中症・・・三題噺になりそうな「真夏の
下刈り」を経験者、子供連れは敬遠か？

参加予定62名が44名に減。幸い猛暑ひと段落の曇
天下の活動で、大過なく作業を終え、かつ温泉付きでさ
っぱりと活動を終えられた。

現場は、H24広葉樹植栽エリアで、ハチ、水分補給の
特段の注意他その後、5班で分担。我班は雨後の崩れかけ
た取っ付きと足場の悪い急斜面を担当。メンバー9名は
経験者で、茨のチクチクと闘いながら、「黙々と順調に進
め、予定の8～9割のエリアを無事終了。整備後の斜面
を振り返り曇天に感謝しながら戻った。なお全体では鎌、
木での切り傷あるも、大過なし。

昼食後、箱根水道パートナーズ(株)様のご厚意により、
敷地内の「膜ろか装置」を見学させて頂いた。帰路、車窓
から警戒レベル3の山を近くにみつつ、実施可否KY
は？などフト・・・

(記 渡辺 敏幸 12期)

◆ 神奈川県水道記念館 水源の森林観察会

- 日 8月20日(木)10:00～14:30、曇時々雨
場 やどりき水源林
参 20名(大人9名、子供11名)
スタッフ 織立様、持田様、福井様 看 小林様
イ L山崎⑦、井出①、小川⑬、菌田⑬

前夜来からの雨で天候が心配される中、参加者の方々
を乗せたバスがゲート前に到着する頃には小降りになっ
ており、活動が可能になった。

集会棟の前に集合して、神奈川県水道記念館担当者
様のご挨拶、インストラクター山崎リーダーによる活動前
の注意事項等の後、4班に別れて各インストラクターと林
道コースを散策した。水源林や丹沢起源の話の時には
気の遠くなるような長い年月が掛かっていることに興味を
示されていた。天候のせいかな山ビルも元気いっぱい、
看護師の小林さんは大忙し。

昼が近づくと雨も上り、ご家族がそれぞれ外で昼食を
取り、午後は待ちに待った水生生物観察会となる。本流
は水量が多かったため、安全を期してタカナシの森で行
う。子供も大人も網を片手に採取を始める。あちこちで歓
声が上り、時折赤くなった立派な沢ガニも網に入るプラ
ナリアやカワゲラなど各班で採取した生物をバットに広
げて観察しながら、図鑑を見て同定し記録を取った。

参加者全員が、水生生物の採取や、山ビルを見るの
が初めてで、とても良い経験が出来たと喜んでおられた。

(記 菌田 栄哉 13期)

ニュースレター「しずくちゃん便り」ホームページは

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>

かながわの水環境の
保全・再生をめざして

◆ 14期生養成講座(下刈り)講師活動

- 日 8月22日(土)9:00～16:00 晴れ
場 秦野市ヤビツ峠
参 大人30名
財 豊丸様、靱山様
イ L小野⑦、大澤⑩、宮下⑩、柴⑪、松永⑪

夏の太陽が照りつけ、風もなく暑い日となったがここは
標高も高いので下界？よりはしのぎやすい。インストラ
クター5名は8:40に現地入りして当日の進行等を打合せ、
財団靱山氏到着後本日の予定地の再下見と作業箇所
の確定の為現場へ入る。N/W活動時の刈残し場所等を含
め5か所を当日の研修箇所決定。

開始式後「インストラクターとしての役割と必要な資質・
安全管理と危険予知活動・本講座の主旨など各講師の
講話が有り、その後簡単な下刈りデモを実施して午前
の部を終了。午後は班(5班)別に受講者が順番にイン
ストラクターとして他の班員の配置～作業指導等を実施、
予定時間には概ね担当の区画の作業を終了。下山後倉庫
前にてシャープナーにて鎌研ぎと収納。感想発表では
「安全」に関する質問や提言が多くインストラクターとして

現場に立つ際の心構えに早くも心を馳せているのかなとうれしく且つ頼もしく感じた。当研修に関しては事故も無くで定刻に終了。

(記 小野 幸広 7期)

◆ 鶴岡八幡宮槐の会(鶴の子会林間学校)

日 8月22日(日)9:00~15:00、曇り

場 やどりき水源林フィールド

参 112名(大人54名、子供58名)

スタッフ 久田部長、佐伯様、三嶋様、渡部様、大津様、木村様、亀田様、ほか 計27名

イ L草野⑧、井出①、菊地①、宮本④、若林⑦、愛木⑦、阿部⑧、高橋⑨、福島⑩、真貝⑩、吉田⑩、源島⑬

心配されたお天気も曇り空ながら、時折晴れ間も見せる活動日和に恵まれ、Aグループ(3班編成)とBグループ(3班編成)とに分かれて、午前・午後とに交互に「水源林散策」と「水棲生物観察」を行った。

(水源林散策)は、インストラクターの案内で、各班にわかれて、延寿の森を中心に散策した。散策の傍ら、樹冠の揺らぎを感じるころでは、年輪のできかた等のお話と休憩タイム。サンショウ・クロモジ・ヒノキなどの森の香りを嗅ぎながら森の癒しも体験。さらには「ハンモック」でゆらりゆらり。最後には水源涵養実験セットによる「緑のダム」で、森の働きと手入れの必要性に頷いていた。

(水棲生物観察)は、インストラクターの案内で、各班にわかれての注意事項等の説明の後、やどりき沢(午後は後沢出合)で採集開始。ヤマメ、カジカ、沢ガニ、プラナリア、カワ虫などに子供たちの歓声が森の中に響き渡った。採集後、広場に戻り、チェック表を使ってインストラクターが説明。沢ガニなどの生態の説明に瞳を輝かせて、大きく頷いたり、質問する子供もいて楽しい観察会になった。蒸し暑い一日であったが、子供たちは元気に活動に参加いただき、満足頂いた活動になりました。熱中症になる子供も出なく、無事に活動を終えることができたのは、保護者のほか鶴の子会スタッフのご協力の賜物と感謝します。

(記 草野 弘 8期)

◆ 日揮株式会社 パートナー林活動 水源探検ハイキング

日 8月22日9:30~13:30、晴れ

場 寄バス停~やどりき水源林内

参 大人2名(女性)

スタッフ 担当者1名

イ L松本⑧、増子③

寄バス停より中津川を遡り、寄沢の水源までをハイキングという企画でした。

参加者は、日揮(株)の女性社員2名でした。寄バス停では、森林の働き、水源林の話をした後に出発。視たり、触ったり、嗅いだり、聴いたり、(味わっては?)と実際に歩きながら感じていただく。

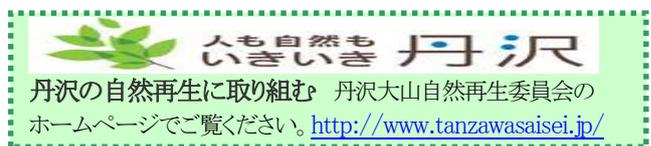
カラムシの所では、糸に撚りをかけ、引っ張ってもら。切れるかな?切れない!強い。クズは花の良い香り。お昼寝中ですか?秋の七草は。スギ・ヒノキの一枚の葉はどれ?等々。

寄沢の伏流水が流れ出る所では、水に手を浸し、長い道のりをかけて流れ出る水に、皆で感激。

昼食後は、「トンボのメガネ、小さい秋、・・・」を合唱。その後、滝郷の滝で冷氣、マイナスイオンを体中に浴び、生き生きとした顔の参加者。

山ビルの吸血被害もなく、晴れ晴れとした顔で、水源林を後にされました。

(記 松本 洋子 8期)



◆ 川崎市教育委員会内、 夏休み親子工作教室連絡協議会 環境講座(森林講和)

日 8月23日(日)9:00~10:00、曇り

場 川崎市立南生田小学校 体育館

参 大人約200名、子供約200名

イ L西出⑫

夏休親子工作教室は、PTAが地元建築関係組合と協力して毎年行っている行事です。4つの工作(竹細工、木工作、モザイクタイル、銅板細工)が準備され、その一つを選んで、親子で作業します。まず、作業の前に行われた開会式の中で、その日に触れる木材に関連して、森林の働きや人との係わりに関する話をしました。体育館には父母・児童400人程が集まり、熱心に耳を傾けてくれました。川崎市の水道はその9割が遠く離れた相模川・酒匂川の水である事、それぞれの川には大きなダムが4つあって水を供給してくれている事、ダムの上流に

は「緑のダム」と呼ばれる森林があって水を貯えている事、森林には多様な働きがあって人の暮らしと密接に係わっている事等の話をし、最後に全員で「みんなで森を守ろう!」、「水を大事に使おう!」を合唱して、講話を終えました。その後、4つの工作を見学しながら、取り組んでいる父母・児童と懇談しました。

(記 西出 健一 12期)

◆ 県民参加の森林づくり 竹林整備

日 8月29日(土) 7:50~13:30、小雨

場 葉山町木古庭

参 77名

県 横須賀三浦地域県政総合センター4名

財 内海課長、豊丸様 看 青木様

スタッフ 大和ハウス 渡辺様

イ L小笠原⑩、杉戸⑥、北村⑥、村井⑨、小沢⑨、中元⑩、松山⑩、宮下⑩、湯浅⑪、山下⑪、中村⑪、渡辺(朋)⑫、長尾⑬、斎藤(夏)⑬、武井⑬、焼尾⑬

毎年、天候が心配される日程だが、今年もまた小雨だったので、暑さ対策は不要になり、ホッとする。

参加者は申込者の8割。リピーターが多く、15グループに分かれ現場にはいった。毎年定期的に1回ではあるが手入れをしてきた現地は誰もがわかるような整備された竹林になってきた。うれしいことである。

竹も成長がよくなり、支給される竹挽きのこぎりでは間伐が大変になってきた。

参加者の中には企業グループでの方もおり、遠くは長野県から参加して下さり、頭が下がる思いだった。

終了後の反省会では「所有者の大和ハウスが今後この地をどのようにしていくのか」聞いてみたいという意見もあった。今後の竹林の様子を参加者自身が見守っていききたいという発展的な声に我々インストラクターもうれしかった。

(記 小笠原 多加子 10期)

◆ 横浜市立緑小学校 森林づくり活動

(間伐体験(中止) ⇒ 村内散策)

日 9月1日(火)10:00~13:00、雨

場 愛川ふれあいの村村内、および、集会所

参 小学5年生約160名、大人11名

財 古舘様、豊丸様

イ L武者⑦、井出①、高橋③、渡辺③、宮本④、斎藤⑥、伊藤⑦、小野⑦、福島⑨、小沢⑨、

村井⑨、松山⑩、谷川⑪、松本⑪、西出⑫

菌田⑬、小川⑬

本日は雨天のため間伐体験作業は中止となった。愛川ふれあいの村集会所で簡単なオリエンテーションをし、全体で森林のお話(森林の役割)を15分行い、そのあと雨も上がり45分ほど各インストラクターのもと、班に分かれ自然観察をしながら村内散策をした。

12時頃に集会所へ戻り、班毎に森の話をしてしながら昼食を取った。昼食後簡単な挨拶をし、終了は13:00頃。

(記 武者 直 7期)

要申込 『やどりきの森へ行こう!』

新松田駅北口8:30集合。イベント当日は、
水源林ゲート前までバスを利用!
(バス代各自負担:片道620円) ☆=所要時間目安

11月28日(土)
【もうすぐ冬!紅葉&動物の痕跡探し】

“リンドウ”咲き誇る「栗野峠”林道”」には様々な動物の痕跡が。また、スギ・ヒノキ林の幾何学模様や紅葉のパッチワークは必見! どんな痕跡が見つかるかな?

☆=4時間 申込締切...11月12日(木) 定員50名(抽選)

【内容についての問い合わせ先】

かながわトラストみどり財団 (左ページ参照)

【「やどりきの森へいこう」の申込先】

NPO法人 かながわ森林インストラクターの会
〒243-0014 厚木市旭町1-8-14 グリーン会館
E-mail k-inst10981@friend.ocn.ne.jp

希望するイベント日時、参加者全員のお名前、住所、電話番号を記入の上、往復ハガキ、又はE-mailにてお申し込みください。
締切後、抽選結果ならびに詳細をお送りいたします。

投稿概略フォーマットと略語の説明

ページレイアウトは気にせずベタ書きで構いません。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付 (できれば時間と天気も)

場 場所

参 参加者&人数

県 神奈川県 環境農政局 水・緑部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財 ((公財)かながわトラストみどり財団)、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター (○数字:期) 研:研修枠

(以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)

リーダーは責任を持って執筆者の選択をお願いします。

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。
次掲載は12月号です。

森のめぐみ シリーズ

やどりき水源林 ミニガイド

10月のトピックス

10月桜が咲き始めました。今年は花が少ない様です。来年3月頃まで花見可能



(10/25 撮影)

11月の水源林

やどりきも本格的な秋、絶好の紅葉シーズン到来です。リンドウも咲いています。

緊急報告 10/25 に”カモシカ”が目撃されました。会えるかも！！

「森の案内人」情報

●実施時間：毎週土曜・日曜・

AM10時・PM1時、1～2時間程度

●集合：水源林入口ゲート前

●内容：森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。

参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ：(公財)かながわトラス

みどり財団 TEL：045-412-2255

FAX：045-412-2300

●ホームページ：<http://www.ktm.or.jp>

●E-mail：midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35～40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f550/p944432.html>

知事と語ろう！ 地域の明日 テーマ「水を育む元気な森づくり」が開催されます。参加希望の方は、上記 URL にアクセスして、参加申し込みフォームにてお申し込みください。

参加費は無料です。詳細は上記 URL をご覧ください。

開催日 2015年 11月5日(木)
18:30～20:00 (開場18:00)

会場 サン・エールさがみほら

特別発表者 内海規(うつみただし)氏
公益財団法人かながわトラスみどり財団
みどり森林課 課長
八住 庸平(やすみようへい)氏
コカ・コーライーストジャパン株式会社
常務執行役員
広報・パブリックアフェアーズ本部

お問合せ先 インターネットでは 対話の広場検索 検索

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保 (Eメールアドレス変更)

Mail：matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel：090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail：s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel：090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保 (Eメールアドレス変更)

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax：045-301-9401

電話連絡先：090-7962-3168

Mail：matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871 小田原市下堀 123

Tel/Fax：0465-42-7240

Mail：minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【別冊はCCも】福島 正治 (新事務局長)

〒214-0006

川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax：044-944-9423

Mail：fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>

(HP担当：井出恒夫)

内海 規(うつみただし) 氏

(公益財団法人かながわトラスみどり財団
みどり森林課 課長)

八住 庸平(やすみようへい) 氏

(コカ・コーライーストジャパン株式会社 常務執行役員
広報・パブリックアフェアーズ本部)

編集後記

★リンドウの群生に出会う機会があり、幸せな気持ちになりました。いつまでもここで咲き続けられる事を願います。

(赤崎)

★神無月の良き日に、二泊三日で仙台の秋保温泉に行ってきました。イロハモミジ、ドウダンツツジが色づき始めていました。毎年の姉弟旅行。温泉に日本酒・・・幸せでした。

(小川)

★我が家の庭に、今年はオクラを2本植えました。10月に入り収穫時期は終了したと思い込み放置した所、約25cmの実が3本生りましたがもう硬くて食べられませんでした。

(蘭田)

★今年の夏 猛暑や雨で運動できず、お腹があつという間にプックリ。これからの季節、ランニングで頑張ります。

(水口)

★あつという間にもう11月。この月は公私とも忙しいです。スケジュールリングをキチンとしなければ！！

(松本)

◇ 年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人：松本 保

広報部：水口俊則 徳岡達郎
大塚晴子 赤崎さほり

小池 哉 小川和恵 蘭田栄哉

支援 伊藤恭造

2015 松田きらきらフェスタ (イルミネーション)

11月下旬、松田山がLEDのイルミネーションに彩られると、恒例の松田きらきらフェスタがいよいよスタートします。夕闇せまる町から松田山を見上げると、巨大なクリスマスツリーにみたてたハーブ館(イルミネーション)が浮かび上がります。会場までの沿道にもLEDが飾りつけられ、西平畑公園までの道を光が導きます。日が沈んだ後、約18万球のイルミネーションに彩られた西平畑公園のきらめきと足柄平野の夜景が溶けあうと光と闇の夢幻空間が広がります。



(松田町観光課) <https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/kankou-sub/autumn-herb-fes.html>

開催日 11月下旬～12月下旬

開催地 西平畑公園

場所 松田山ハーブガーデン

連絡先：電話：0465-85-1177

(松田山ハーブガーデンHP)

<http://www.seibu-la.co.jp/matsudayama-hg/>